

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、最近風邪がはやっていますから注意してくださいね。乾燥しているこの時期は、こまめに手洗いやうがいをして予防しましょう。手に付いた菌は、水洗いだけでも洗い落とせるらしいです、吊革・ドアノブ触るたび菌が増えてくるので、その都度水洗いすることが望ましいですね。先日、自動販売機で梅こんぶ茶を発見！それから自宅でも茶缶を買ってハマって飲んでいる堀内貢次です。

携帯待受けが世界自然遺産！

先週、携帯を買い換えました。電池が半日も持たない上に、カメラのレンズがコートを取った手で絶えず触るのでくもってしまい、画像がはっきりしないからです。今度の携帯は、ソニー製でレンズカバー付きだから安心です。会報誌やブログで頻りに写真をとる私にはサイコーの品物です。

待ち受け画面は、内蔵してある世界遺産シリーズの「カッパドキアの奇岩」です。トルコのギョレメ渓谷にあるこの奇岩は、凝灰岩の侵食によって出来てさまざまな形を作



っています。写真は代表的なキノコ岩です。

聖母マリア像の洗浄・コート

あるミッション系の大学で、事務所棟の中に展示してある聖母マリア像が経年変化でかなり汚れてきているので、大理石（ピアンコカララ）本来の白さに戻してほしいという依頼が来ました。もともとが室内に置いてあるだけなので、汚れの中心はホコリや蛍光灯の静電気等をつく汚れが中心なので、洗剤は、石材用アルカリ洗剤の薄めた液と漂白剤を使って洗浄していきます。

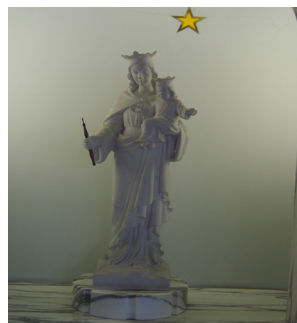
洗浄に当たっては、石造なのでかなりの凹凸がありますから、洗剤塗布には、霧吹き等のスプレーヤーでまんべんなく洗剤を塗布していきます。

しばらくおいてから、汚れを浮き上がらせて、すすぎにはスチーム機を使用して細かいところまで蒸気を当てて洗浄をしていきます。

これだけでも、かなりの汚れが浮き上がってきて、大分白

くなってくるのですが、更に、ピアンコ本来の白さを出すために、漂白をかけていきます(右上図)。

乾きそうになったら再度漂白剤を塗布して、白さを増していきます(右下図)。その後スチームですすいで、石



をよく乾燥させて(細かい部分にはブローアが有効です)、最後に石材の保護剤を塗布して完了です。

大分明るくなりましたと喜んで頂けました。



エレベーターホールが一番汚れる所

オフィスビルのエレベーターホールに石が使われ、年数がたってくると必ず、ボタン周辺が汚れてきますね。石材は吸水性があるので、手からの脂分を吸ってボタン周辺が黄ばんできます。洗浄は、油を抜くアルカリ洗浄をして、ボタンまわりのしつ



こい部分は、場合によっては湿布も必要になってきます。それから白大理石なので、最後に漂白をして、白さを復元します。

編集後記 娘の「萌黄」は、あと数日で期末試験です。本人は、ノホホント(父親似)しているのですが、母親の方が真剣で、毎日緊張した空気が流れています。

萌黄通信 毎月 1 回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町 1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp